

子どもの精神分析的心理療法セミナー2012

はじめに

現在、子どもの心理療法に関わる専門家は多いが、子どもの発達や置かれている状況にあった心理療法を提供出来ている環境は少ないでしょう。それぞれの子どもに適した心理療法を身につけ、それを生かしていくことが、我々専門家には求められています。今回は、イギリスのタビストック・クリニックで子どもの心理療法の訓練を受けられた脇谷順子先生を招き、就学前の子どもへの心理療法サービスと発達障害がベースにある子どもの心理療法について勉強する場を設けました。

NPO 理事長 平井正三

<開催日時>

第一回：2012年2月19日(日)13時～17時半

「5歳以下の子どもに対するカウンセリングサービス」

[内容] 児童虐待のニュースは後を絶ちません。乳幼児と親の関係が悪循環に陥り、虐待に発展する前に、親子に対してどのような心理的な援助が可能でしょうか。ウイニコットは、乳幼児あるいは親ではなく、乳幼児と親の関係がセラピーの対象だと考えました。前半は、精神分析的な心理療法を乳幼児と親へのカウンセリングにどのように応用し、利用できるかを中心に考えていきます。後半は、参加者から事例を発表いただき、それについてディスカッションする予定です。

第二回：2012年5月13日(日)13時～17時半

「発達障害児の心理療法」

[内容] 「発達障害」という診断や見方にとらわれると、子どもの心が見えなくなる可能性があります。前半は、「発達障害児」と呼ばれる子どもたちがどのような内的世界に生きているのか、セラピーを通じて、子どもたちの心をどのように理解していけるのかを探っていきたいと思います。後半は参加者から事例を発表いただき、ディスカッションを通して、心理療法によって「発達障害」の子どもたちの心の世界についての理解をどのように広げ、深めることができるか考える予定です。

<講師> 脇谷順子先生

[経歴] 東京大学大学院博士課程満期退学。博士課程在学中より、東京都板橋区教育相談所勤務。渡英前は、埼玉県の渡辺メンタルクリニックと熊谷メンタルクリニックに勤務。

2000年から2011年までロンドンのタビストックセンター留学。児童青年精神分析的な心理療法士の資格取得。



<会場> 佛教大学臨床心理学研究センター会議室(阪急烏丸駅すぐ)

<対象> 臨床心理士、医師、子どもに関わる専門家、大学院生、研修生(定員は40名)

<受講料> 「10,000円」 ※ただし、2011-12年臨床セミナー受講者は「8,000円」

<申込方法> 郵便局の振込用紙の通信欄に、「氏名(ふりがな)」「住所」「電話/FAX番号」「ご所属」「職種」「E-mailアドレス(携帯アドレス不可)」「事例発表希望の有・無」「子どもの精神分析的な心理療法セミナー2012 申込」と明記の上、お振込みください。

◆振込先 口座番号:郵便振替 00980-8-150282

加入者名:NPO法人子どもの心理療法支援会

申込締切:2012年1月20日(金)

※申し込み受理をお知らせする際(メールか郵送)、会場について詳細をお知らせ致します。

<問い合わせ先>

NPO 法人 子どもの心理療法支援会 事務局

〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下ル笹屋町444 初音館302

Tel/Fax 075-600-3238 E-mail: info@sacp.jp URL: http://sacp.jp/